

環境・エネルギー分野

研究領域

「地球規模の環境課題の解決に資する研究」

採択年度	2019年	研究期間	5年間
研究課題名	東南アジア海域における海洋プラスチック汚染研究の拠点形成		
研究代表機関	九州大学 応用力学研究所 大気海洋環境研究センター		
相手国	タイ王国	主要相手国 研究機関	チュラロンコン大学
研究課題の概要			
<p>本研究は、海洋プラスチック汚染に関する調査・研究拠点をタイに構築し、海洋プラスチックごみ軽減のための行動計画をタイ政府に提案することを目的とする。まずサッタヒーブ郡において、プラスチックごみの発生量解析や現存量調査、環境影響評価、そして将来予測を集中的に行う。この結果を踏まえた行動計画を策定し、地域のポリシーメーカーや多様なステークホルダーと共に、プラスチックごみ発生量の削減を実現させる。続いて、特定地域の成果をエビデンスとして、対象をタイ全域に拡張した行動計画をタイ政府に提言する。本研究で形成されたプラスチックごみの調査・研究拠点は、本研究期間終了後も、持続的なごみ削減のために行動計画の強化・更新を行う上で、科学的根拠を与える司令塔となることが期待される。また、タイにおける取り組みや社会実装をもとに ASEAN 域内にロールモデルを波及させ、域内での海洋プラスチックごみの削減を目指す。</p>			